



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年7月26日

上場会社名 モーニングスター
コード番号 4765 URL <https://www.morningstar.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 朝倉 智也

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理部長 (氏名) 小川 和久

TEL 03-6229-0810

四半期報告書提出予定日 2022年8月2日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト・機関投資家向け、当社ウェブサイトにて動画開示予定

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,007	1.0	515	1.7	621	1.2	361	12.6
2022年3月期第1四半期	1,987	10.0	506	17.7	613	19.6	413	21.2

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 349百万円 (11.1%) 2022年3月期第1四半期 392百万円 (20.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
2023年3月期第1四半期	4.03	
2022年3月期第1四半期	4.61	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2023年3月期第1四半期	13,349	11,815	84.6	126.02
2022年3月期	14,055	12,273	84.0	131.64

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 11,300百万円 2022年3月期 11,804百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年3月期	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2023年3月期		8.00		9.00	17.00
2023年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年3月期の期末配当予想額は現時点で未定であります。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

業績予想につきましては、現時点では未定であります。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	89,673,600 株	2022年3月期	89,673,600 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	170 株	2022年3月期	170 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	89,673,430 株	2022年3月期1Q	89,673,430 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(2023年3月期の配当予想)

2023年3月期の期末配当予想は未定であります。今後の業績等を総合的に勘案して、1株当たり配当を決定次第開示いたします。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、2022年7月26日にアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会の動画は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年6月30日)の連結業績は、アセットマネジメント事業においては、公募のインデックスファンドに加えて、地域金融機関の有価証券運用を支援する私募ファンドの運用残高が継続的に拡大し、運用残高の増加に伴う運用報酬(信託報酬)が増加いたしました。その結果、アセットマネジメント事業の売上高は前年同期(2021年4月1日～2021年6月30日)より50百万円(3.5%)増収の1,482百万円となりました。

ファイナンシャル・サービス事業においては、対面中心の金融機関が顧客アドバイスに活用するタブレット端末向けの「Wealth Advisors」の提供台数が引き続き拡大し、また、当社独自開発の運用関連ツールを自社のWEBサイトやスマートフォンのアプリ上で利用する金融機関の数も増加いたしました。また、コロナ禍で激減しておりました資産運用関連セミナーは回復を遂げ、セミナー回数の増加に伴うスポンサーおよびウェブ関連広告の売上も回復いたしました。一方、前年同四半期(2021年4月1日～2021年6月30日)に計上されておりましたゴメス・コンサルティング事業の売上は、2021年7月1日に会社分割により譲渡したことにより、その分の売上が剥落しております。以上の結果、ファイナンシャル・サービス事業の売上高は前年同期より30百万円(△5.4%)減収の524百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高が前年同期の1,987百万円から19百万円(1.0%)の増収となる2,007百万円となりました。売上原価は、前年同期の919百万円から40百万円(△4.4%)減少し、878百万円となり、販売費及び一般管理費は、前年同期の561百万円から52百万円(9.3%)増加し、613百万円となりました。

全体の売上高の伸び率より原価・販管費の伸び率が抑えられたことにより、当第1四半期連結累計期間の営業利益は、前年同期の506百万円から8百万円(1.7%)増益となる515百万円となりました。

営業外損益は、前年同期に比べて1百万円減少しましたが、当第1四半期連結累計期間の経常利益は、前年同期の613百万円から7百万円(1.2%)増益となる620百万円となりました。

前年同期が米国の子会社 Carret Asset Management LLCの過年度税金の戻りがあり、税金の負担が通常よりも少なかったため、当第1四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期の413百万円と比較すると51百万円(△12.6%)の減益となる362百万円となりました。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)		増減	
	金額(千円)	利益率(%)	金額(千円)	利益率(%)	金額(千円)	比率(%)
売上高	1,987,417		2,007,387		19,969	1.0
営業利益	506,922	25.5	515,296	25.7	8,373	1.7
経常利益	613,809	30.9	620,158	30.9	7,348	1.2
親会社株主に帰属 する当期純利益	413,031	20.8	362,126	18.0	△51,904	△12.6

連結売上高は3期連続の増収、3期連続で過去最高の売上を更新しました。

営業利益は2期連続の増益となりました。

経常利益は2期連続の増益、かつ過去最高益を記録しました。

セグメント別売上高は、以下のとおりであります。

セグメント別売上高	前第1四半期連結累計期間 2021年4月1日から 2021年6月30日まで		当第1四半期連結累計期間 2022年4月1日から 2022年6月30日まで		増加率 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
アセットマネジメント事業	1,432,481	72.1	1,482,525	73.9	3.5
ファイナンシャル・サービス事業	554,936	27.9	524,862	26.1	△5.4
連結売上高	1,987,417	100.00	2,007,387	100.0	1.0

1) アセットマネジメント事業

子会社の運用会社4社および投資助言会社1社の運用残高は、各社とも対前年同期末比で増加しており、5社合計の運用残高は、前年同期末(2021年6月末)の3.1兆円から当期末(2022年6月末)の3.78兆円と21.9%増加いたしました。運用残高の拡大に伴い、運用報酬(信託報酬)が増加したことにより、アセットマネジメント事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期の1,432百万円から50百万円(3.5%)の増収となる1,482百万円となりました。

セグメント利益は、前年同四半期の355百万円から5百万円(1.4%)の増益となる360百万円となりました。

2) ファイナンシャル・サービス事業

投資信託の販売金融機関が活用する「Wealth Advisors」の提供台数は、前年同期末の105,792台から8.7%増加し、当期末は114,960台となり、タブレット端末向けデータの売上は増加いたしました。また、オンライン上で利用する金融機関向けのデータ提供先も増加いたしました。コロナ禍で激減しました資産運用関連セミナーは復活を遂げ、セミナー関連のスポンサーおよびWEB広告の売上も増加いたしました。一方、2021年7月1日にゴメス・コンサルティング事業を会社分割により譲渡したことにより、当第1四半期連結累計期間は、前年同期で計上されていたゴメス・コンサルティング事業の売上はなくなりました。

以上の結果、ファイナンシャル・サービス事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期の554百万円から30百万円(△5.4%)の減収となる524百万円となりました。

セグメント利益は、前年同四半期の151百万円から3百万円(2.2%)の増益となる154百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

資産合計は前連結会計年度末と比較して705百万円減少し、13,349百万円となりました。これは、流動資産が2,013百万円減少し、固定資産が1,310百万円増加したことによるものであります。流動資産の減少は、主として現金及び預金が2,173百万円減少したことによるものです。現金及び預金の減少は、配当金を807百万円支払い、投資有価証券を1,500百万円購入したことによるものです。

固定資産の増加は、主として投資有価証券が1,344百万円増加したことによるものです。

また、負債合計は前連結会計年度末と比較して247百万円減少し、1,533百万円となりました。負債の減少は、主として未払法人税等が268百万円減少したことによるものです。未払法人税等の減少は、前連結会計年度の税金を支払ったことによるものです。

当第1四半期連結累計期間に361百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益が計上され、807百万円の配当を行なった結果、利益剰余金が445百万円減少し、3,993百万円となりました。

その他有価証券評価差額金は、その他の有価証券の時価の下落により、△660百万円となりました。

為替換算調整勘定は、円安により米国子会社の株式取得時の換算レートと当四半期の換算レートの差が拡大したことにより89百万円増加いたしました。

その結果、純資産合計は、前連結会計年度末と比較して457百万円減少し、11,815百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、当社事業と関連性の高い金融市場の動向を想定するのは難しく、当社グループの業績を合理的な算定で行なうことが困難であるため、現時点では未定とさせていただきます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,176,612	3,003,451
売掛金	1,611,378	1,715,251
棚卸資産	※1 1,263	※1 1,618
その他	814,825	870,370
流動資産合計	7,604,080	5,590,691
固定資産		
有形固定資産	※2 149,951	※2 121,360
無形固定資産		
のれん	1,786,713	1,811,509
ソフトウェア	1,076,849	1,200,489
その他	282,050	105,640
無形固定資産合計	3,145,612	3,117,638
投資その他の資産		
投資有価証券	2,624,582	3,968,918
繰延税金資産	345,615	368,851
その他	166,511	165,873
投資その他の資産合計	3,136,709	4,503,643
固定資産合計	6,432,274	7,742,642
繰延資産		
株式交付費	19,003	16,399
繰延資産合計	19,003	16,399
資産合計	14,055,358	13,349,734

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	62,618	46,881
未払金	748,528	755,863
リース債務	69,089	42,330
未払法人税等	464,822	196,084
未払消費税等	90,498	52,184
その他	346,255	440,639
流動負債合計	1,781,813	1,533,983
負債合計	1,781,813	1,533,983
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,363,635	3,363,635
資本剰余金	4,478,772	4,478,772
利益剰余金	4,439,392	3,993,458
自己株式	△29	△29
株主資本合計	12,281,770	11,835,835
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△513,787	△660,823
為替換算調整勘定	36,309	125,332
その他の包括利益累計額合計	△477,478	△535,491
非支配株主持分	469,252	515,406
純資産合計	12,273,545	11,815,750
負債純資産合計	14,055,358	13,349,734

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	1,987,417	2,007,387
売上原価	919,144	878,439
売上総利益	1,068,272	1,128,948
販売費及び一般管理費	※ 561,349	※ 613,651
営業利益	506,922	515,296
営業外収益		
受取利息	78,344	54,814
受取配当金	30,066	53,942
その他	1,028	662
営業外収益合計	109,438	109,418
営業外費用		
為替差損	53	230
株式交付費償却	2,224	2,604
その他	273	722
営業外費用合計	2,552	3,557
経常利益	613,809	621,158
特別損失		
暗号資産評価損	-	4,848
投資有価証券売却損	4,035	-
特別損失合計	4,035	4,848
税金等調整前四半期純利益	609,773	616,309
法人税、住民税及び事業税	104,896	166,484
法人税等調整額	17,907	42,545
法人税等合計	122,804	209,030
四半期純利益	486,969	407,279
非支配株主に帰属する四半期純利益	73,938	46,153
親会社株主に帰属する四半期純利益	413,031	361,126

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	486,969	407,279
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△59,008	△147,036
為替換算調整勘定	△35,024	89,023
その他の包括利益合計	△94,032	△58,013
四半期包括利益	392,937	349,266
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	328,654	303,112
非支配株主に係る四半期包括利益	64,283	46,153

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 棚卸資産の内訳

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
仕掛品	-千円	15千円
貯蔵品	1,263	1,603

※2 有形固定資産の減価償却累計額

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
	275,627千円	277,708千円

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
従業員給与	240,067千円	251,877千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
減価償却費	108,138千円	108,848千円
のれんの償却額	25,252	28,701

(株主資本等関係)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
2021年5月14日 取締役会	普通株式	利益剰余金	762,224	8.50	2021年3月31日	2021年6月1日

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
2022年5月19日 取締役会	普通株式	利益剰余金	807,060	9.00	2022年3月31日	2022年6月1日

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			差異調整 に関する 事項	連結 財務諸表 計上額
	アセットマネ ジメント事業	ファイナンシ ヤル・サービ ス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,432,481	554,936	1,987,417	-	1,987,417
セグメント間の内部売上高又は振替高	18	14,712	14,731	△14,731	-
計	1,432,499	569,649	2,002,149	△14,731	1,987,417
セグメント利益	355,834	151,088	506,922	-	506,922

当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			差異調整 に関する 事項	連結 財務諸表 計上額
	アセットマネ ジメント事業	ファイナンシ ヤル・サービ ス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,482,525	524,862	2,007,387	-	2,007,387
セグメント間の内部売上高又は振替高	28	5,997	6,025	△6,025	-
計	1,482,553	530,859	2,013,413	△6,025	2,007,387
セグメント利益	360,922	154,373	515,296	-	515,296

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

売上高	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
報告セグメント計	2,002,149	2,013,413
セグメント間取引消去	△14,731	△6,025
四半期連結損益計算書の売上高	1,987,417	2,007,387

(単位: 千円)

利益	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
報告セグメント計	506,922	515,296
セグメント間取引消去	-	-
四半期連結損益計算書の営業利益	506,922	515,296

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	4円61銭	4円03銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	413,031	361,126
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額(千円)	413,031	361,126
普通株式の期中平均株式数(株)	89,673,430	89,673,430
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりませ ん。		

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。